

【山種美術館 広尾開館10周年記念特別展】

東山魁夷の青・奥田元宋の赤 ― 色で読み解く日本画 ―

Special Exhibition Commemorating a Decade since the Yamatane Museum of Art Opened in Hiroo:
Reading Nihonga Through Color — Kaii's Blue and Gensō's Red —

御舟作品の白眉《名樹散椿》（重要文化財）からネーミングされ、ロゴにも御舟の文字を使用した「Cafe 椿」は、美術鑑賞の余韻のなかで、お茶とスイーツ、ランチが楽しめるカフェ。季節や開催中の展覧会にちなんだオリジナルメニューをご用意しています。

特に和菓子は、青山の老舗菓匠「菊家」に特別にオーダーした「Cafe 椿」オリジナルです。また、素材と季節感にこだわった、女性にやさしいランチメニューもおすすめです。テーブル、チェア、カウンターなどは、イタリア・カッシーナ・イクスシー社に

特注し、美術館ロビーでおしゃれな佇まいを見せています。ガラス越しにまるでオープンカフェのように季節のうつろいがよく眺められる、42席の静かなスペース。お気軽にお立ち寄りください。

除夜 Joya

しんとんと古都に降る雪と町屋の屋根を、きんとんと錦玉羹で表現しました。中は上品な甘さの大島あんです。（黒糖風味大島あん）



東山魁夷
《年暮る》
Higashiyama Kaii
End of the Year



鶴の舞 Tsuru-no-Mai

舞妓の着物に舞う金色の鶴。華やかな袖の中に、風味豊かな胡麻入りのこしあんを包みました。（胡麻入りこしあん）※卵を使用しています。



奥村土牛
《舞妓》
Okumura Togyū
Maiko, Apprentice Geisha



秋の色 Aki-no-Iro

秋の溪流を華やかに彩る紅葉と水しぶきを、美しい和菓子に仕上げました。色鮮やかな黄緑色の柚子あん入りです。（柚子あん）



奥田元宋
《奥入瀬(秋)》
Okuda Gensō
Oirase Ravine: Autumn



雪けしき Yukikeshiki

京都・嵐山の雪景色を描いた一幅。川辺に降り積もった雪を粉糖で表しました。静かな冬の風情を感じさせるひと品です。（こしあん）



森寛斎
《雪中嵐山図》
Mori Kansai
Arashiyama in the Snow



里の秋 Sato-no-Aki

移りゆく秋の情景を描いた作品から、色づく柿の様子をかたどりました。菊家特製のこしあんは控えめな甘さです。（こしあん）※柿の味ではありません。



小林古径
《秋采》
Kobayashi Kokei
Autumn Fruit



※作品はすべて山種美術館蔵

※All works are the property of the Yamatane Museum of Art.

[その他のメニュー]

- ◎ コーヒー（京都・スマート珈琲） ¥750 ◎ 抹茶 ¥850
- ◎ 丸子紅茶 ¥750 ◎ 今月のお茶 ¥750
- ◎ お茶セット ¥1,100 ◎ お抹茶セット ¥1,200
- ◎ ケーキセット ¥1,300
- ◎ 季節のにゅう麺 ¥1,350 など

※和菓子のテイクアウト2個から承ります 1個 ¥610